

6月25日に広島西部山系砂防事務所において、「全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」で優秀論文に選考された宮川興業(株)宮地琢哉氏の論文(砂防工事におけるICT及びCIMの全面的な活用について)の表彰式を開催しました。

論文は全国から応募があった約490稿の中から、選考された優秀論文7稿のうちの1稿です。

論文では、ICTを駆使することで問題を解決し、生産性向上を図り魅力ある建設現場を目指すためのICTを活用した取り組みが紹介されています。

- ・工事施工にあたり、全国初の試みとなった小型のマシンコントロール重機を採用し、狭隘部分の敷均しにおいて、省人化や品質及び安全生の向上への取り組み。
- ・CIMデータを活用した現場の立体模型を作成し、掘削形状を可視化することによって安全確保に取り組み。

### 【3次元データの活用】

- ・3Dを活用した仮設計画
- ・3Dプリンターの活用
- ・マシンコントロールバックホウによる掘削
- ・小型マシンコントロールバックホウによる施工



【3Dプリンターによる出力模型】



【ICT建機による本堤内部材敷均し】



受賞者の宮地さん

※例年は「土砂災害防止月間」の一環として開催している「全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」において優秀論文の発表及び表彰式を実施していますが、今年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため発表会が延期となっているため、広島西部山系砂防事務所において表彰式を開催しました。